

3月 18-24 日 [詩編 19-21 編](#)

[6 番の歌](#)と祈り | 開会の言葉 (1 分) 米山英行 | 星 延宏

神の言葉の宝



1. 「天は神の栄光を知らせ」ている (10 分) 長谷川 瑛一

エホバの創造物はエホバの栄光を知らせている。 ([詩 19:1](#) 天は神の栄光を知らせ、 大空は神(*神の手)の偉業を伝えている。 [塔 04 1/1 8 ページ 1-2 節](#))

太陽は素晴らしく造られている。 ([詩 19:4-6](#) しかし、音が世界中に響き渡り(if*測り綱が世界中へ出ていき)、知らせが世界(*大地)の果てにまで伝わった。神は天に太陽のための天幕を張った。5 太陽は夫婦の寝室から出てくる花婿のよう。喜び勇んで走路を進む強靱な人のよう。6 天の一方の果てから出ていき、他方の果てへと巡っていく。その熱から隠れられるものは何もない。 [塔 04 6/1 11 ページ 8-10 節](#))

神が造ったものについてよく考えることは大切。 ([マタ 6:28](#) エホバの律法は完全で、力を吹き込む(*人を連れ戻す)。エホバの教え(*思い出させるもの)は信頼でき、経験の浅い人を賢くする。8 エホバの命令は正しく、心に喜びが生まれる。エホバのおきては清く、目が開かれる。9 エホバへの畏れは純粹で、永遠に続く。エホバの裁きは真実で、全く正しい。 [目 95 11/8 7 ページ 3 節](#) 自然界の芸術性に対する認識を深めるなら、わたしたちは創造者を知るよう助けられます。わたしたちは創造者のみ手の業に取り囲まれています。あるとき、イエスは弟子たちに、ガリラヤ一帯に生育する野生の花をよく観察しなさい、と言われました。イエスは、「野のゆりから、それがどのように育っているか、教訓を得なさい。労したり、紡いだりはしません。しかしあなた方に言いますが、栄光を極めたソロモンでさえ、これらの一つほどにも装ってはいませんでした」と語られました。 ([マタイ 6:28, 29](#)) 取るに足りない野の花の美しさは、神が人類の必要に無関心ではないことを思い出させます。)

家族の崇拝でやってみよう 創造物を観察し、エホバについてどんなことを学べるか話し合う。

2. 宝石を探し出す (10 分) 大谷 正

[詩 19:7-9](#) エホバの律法は完全で、力を吹き込む(*人を連れ戻す)。エホバの教え(*思い出させるもの)は信頼でき、経験の浅い人を賢くする。8 エホバの命令は正しく、心に喜びが生まれる。エホバのおきては清く、目が開かれる。9 エホバへの畏れは純粹で、永遠に続く。エホバの裁きは真実で、全く正しい。

この聖句から、神の言葉を学ぶことの価値についてどんなことが分かるか。

(塔 00 10/1 13 ページ 4 節) 神の言葉を読んで研究すれば、爽やかになり、元気が出てきます。詩編作者はこう言明しました。「(上記太字)」。(詩編 19:7, 8) エホバの律法や諭しは、わたしたちの魂を生き返らせ、霊的健康を増進させ、内面の喜びをもたらし、エホバのすばらしい目的をはっきり見させて、わたしたちの目を輝かせます。なんと喜ばしいことでしょう。(毎日聖書を読んでじっくり考える習慣を確立することはとても大切。例: 黙想しながら眠りに就き、黙想しながら目ざめるのは本当に良い習慣かも)

今週の範囲からどんな宝石を見つけたか。(19:1-6) 言葉を発することも思考することもできない創造物がエホバの栄光をたたえているのであれば、考え、話すことのできる私たちは、記念式への招待活動でも、できれば家の方に直接語りかけてエホバを賛美し続けていきたいと思う。

3. 聖書朗読 (4 分) 詩 19:1-14 (教励 第 11 課) 長谷川 貴史

野外奉仕に励む

4. 会話を始める 田中 克彦 愛 2-3 有川 聖七

(3 分) 公共エリア伝道。記念式の招待状を渡し、jw.org で最寄りの会場を検索する。(愛込 レッスン 2 ポイント 3)

5. 会話を始める 安斎 麻理 愛 3-4 枝並 真菜

(4 分) 記念式の会場で。投函されていた招待状を見て記念式に来た人を歓迎する。後日、質問に答えることを約束する。(愛込 レッスン 3 ポイント 4)

6. 信じていることを説明する 伊藤 勇一

(5 分) 話。イ質 45 主題: エホバの証人が主の晩餐を守り行う方法はほかの教会と違いますが、なぜですか。(教励 第 6 課)

クリスチャンとして生活する

141 番の歌

7. 「神が造ったものについて考え、信仰を強くする」 星 延宏 (統治体の話②)

(15 分) 討議。動画を再生する。質問: 自然界を観察すると、創造者の存在を信じられるのは?

8. 会衆の聖書研究 (30 分) 徹 7 章 9-13 節, 56 ページ囲み 吉田 忍 朗読: 五味 統

閉会の言葉 (3 分) | 127 番の歌と祈り 竹林 直毅

^ (詩 19:0-21:13) 指揮者へ。ダビデの歌。19 天は神の栄光を知らせ、大空は神*の偉業を伝えている。2 日が昇るごとに言葉を発し、夜が来るごとに知識を明かす。3 何も言わず、何も語ら